

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 東京都品川区
本事業の担当部署名 子ども未来部子ども育成課

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	子育て支援情報発信事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和8年度
総事業費(A)(円)	6,025,775		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	6,025,775
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	6,025,775						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	300,000	0	0	0	1,375,000	0
	対象経費支出予定額	300,000	0	0	0	1,375,000	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	4,350,775	0	0	0		6,025,775
	対象経費支出予定額	4,350,775	0	0	0		6,025,775
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 区の合計特殊出生率は、令和2年に1.21となったが、その後減少となり、令和6年度には0.99となった。そこで品川区では、妊娠・出産・育児の切れ目のないサービスの充実に取り組んできているものの、区の子育て支援施設や子育て関連窓口が、身近な相談先としてあまり利用されていない傾向も確認されている。 子育てに関する不安や孤立感が軽減され、安心して妊娠・出産・育児ができるように、区の子育て支援の方向性やサービスの情報を広く周知することで、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくりを行う。 <本個別事業の位置付け> 子育てに関する不安や孤立感を軽減し、安心して妊娠・出産・育児ができる環境を整えるとともに、子育て当事者だけでなく、地域で子育てを支える多様な区民が、品川区の子育て支援の方向性やサービスを正しく理解し、社会全体で子育てを応援する機運を高めるため、以下の3点に取り組む。 ①プッシュ型配信を行う「子育て支援情報発信アプリ」の運用保守 ②区と区内のママ・パパが協働して、当事者目線の「子育てガイド」を作成 ③区の状況・施策・方針を区民に明確に伝える「しながわこども未来ガイド」の作成					
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	「子育て支援情報発信アプリ」の運用保守	以下の機能を備えたアプリの運用保守を行う。 ・プッシュ型配信 利用者が住まいや子どもの年齢を設定しておくことで、利用者本人のスマートフォンに身近なイベントや講座の情報がプッシュ配信される。 また、利用者が希望設定を行うことで、住まい以外の地域(例:保育園の近く等)の情報もプッシュ配信にて情報を得ることができ、利用者および区双方で情報の選択が可能である。 ・検索 年齢やカテゴリごとに情報を分かりやすく整理するとともに、キーワード検索も可能である。 ・「子育てガイド」「しながわこども未来ガイド」を配信 デジタルでも閲覧が可能とすることで、利便性を向上し、より多くの区民へ情報を届ける。※アプリに登録をしていない子育て世帯以外の区民も利用可能				
	2	「子育てガイド」の作成	品川区と区内のママ・パパが協働し、妊娠・出産・子育てに関する情報を当事者の視点から分かりやすく整理した冊子を作成する。区のサービス情報に加え、区内の子育て支援団体の情報等も幅広く紹介することで、子育て世帯のみならず、地域で子育てを支える多様な区民が子ども・子育てに関わる契機を得られるよう情報を発信し、区全体で子どもと子育てを支えていく機運の醸成を図る。				
	3	「しながわこども未来ガイド」の作成	区の総人口は増加傾向であるにもかかわらず子育て世帯の転出超過の状況が続いているため、子育て世帯の支援につながる区の取り組みを分かりやすく強力に発信することが急務となっている。 そこで、情報発信を通じた不安の軽減や行政施策への理解促進を図り、区民のウェルビーイング・定住意向の向上を図るとともに、品川区の強みである子育て施策を広く区民へ共有することで、地域全体で子どもと子育てを支える機運の醸成につながるため、「しながわこども未来ガイド」の策定業務を行う。 ①こども分野に係る国・都の動向、品川区の取り組み(新規・重点事業、こどもの意見を聴き取り組み、各種エビデンス等)を整理して掲載し、こども政策を推進する区の考え方、具体的施策等を区民に分かりやすく示す。また、子育て支援につながる各種冊子・パンフレット等のQRコードを集約・一覧化したページを設ける。 ②年次発行(8月想定)とし、30ページ程度、写真・イラスト等多用した視覚的に親しみ易いものとする。				
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>							
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目			単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	合計特殊出生率			人	1.45 (R11年度)	1.02 (R5年度)	
	品川区に定住を希望する理由として、「子どもを育てやすい」と回答する区民の割合			%	60% (R11年度)	58.3% (R6年度)	
	品川区に定住を希望する理由として、「子どもの教育環境が良い」と回答する区民の割合			%	50% (R11年度)	33.3% (R6年度)	
参考指標 ※全事業共通	項目			単位	直近の実績値(時点)		
	合計特殊出生率				0.99 (R6年)		
	婚姻件数			件	3454		
	婚姻率				8.3		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目			単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	番号	項目					
	(アウトプット)						
	①	アプリダウンロード件数(累計)		件	8,000 (R8年度末)	5,535 (R6年度末)	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	(アウトカム)						
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)		%	55% (R8年度)	53% (R6年度)	
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%			
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	30% (R8年度)	-	
	④						
	⑤						
⑥							
⑦							
⑧							